

学 生 便 覧

— 履修と学生生活のてびき —

令和8年度入学者用

山形大学理学部

別表3-1

区分	授業科目	開 講 期 及 び 単 位 数						備考
		2 年		3 年		4 年		
		前	後	前	後	前	後	
理学専門科目 (データサイエンス コースカリキュラム)	コンピュータアーキテクチャ	2						教育学部と共通開講
	データ構造とアルゴリズム		2					教育学部と共通開講
	離散数学		2					
	応用プログラミング A		2					教育学部と共通開講
	計算理論		2					
	機械学習入門			2				教育学部と共通開講
	応用プログラミング B			2				教育学部と共通開講
	計算数学			2				教育学部と共通開講
	多変量解析			2				教育学部と共通開講
	深層学習入門				2			
	数理計画法				2			
	データ解析				2			教育学部と共通開講
	離散幾何				2			「幾何学 B」と同時開講
	データサイエンス文献講読 A					2		
	★データサイエンス文献講読 B						2	
	◇データサイエンス特講 A					1		
◇データサイエンス特講 B					1			
◇データサイエンス特講 C					1			
◇データサイエンス特講 D					1			

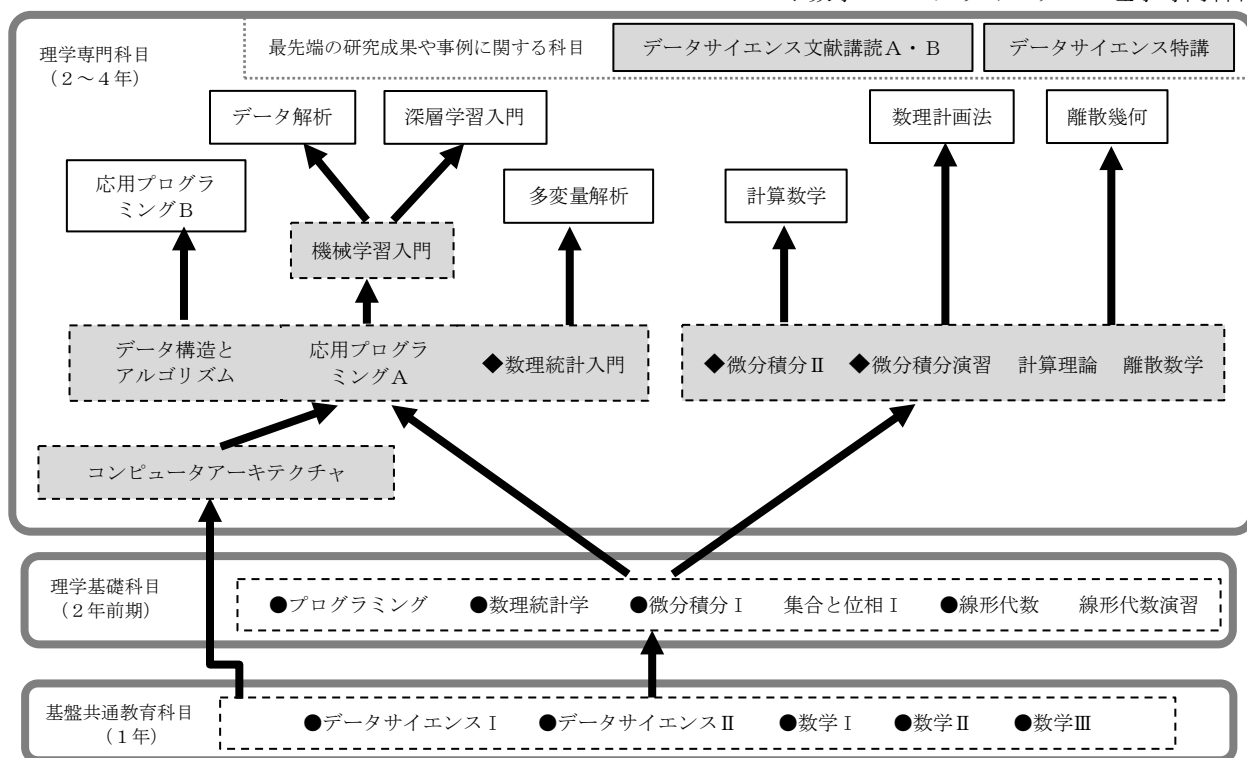
◇は適宜開講

★は大学院接続プログラムの履修者が3年次に履修できる

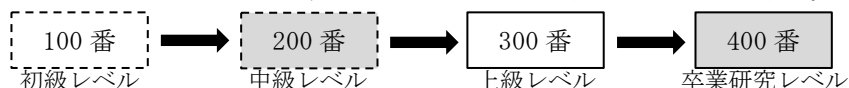
カリキュラムツリー(データサイエンスコースカリキュラム)

●必修科目

◆数学コースカリキュラムの理学専門科目



注) カリキュラムツリーにおいて、各科目ナンバリングは以下のとおり表記する。(全コースカリキュラム共通)



7. 「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得について

第2表の「大学において修得することを必要とする最低単位数」の「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位のうち、必修科目とその最低修得単位数は、第6表のとおりである。下表に基づき、中学校の免許状を取得しようとする場合は31単位（数学、理科共通）以上、高等学校の免許状を取得しようとする場合は27単位（数学、理科共通）以上を修得しなければならない。

第6表

教育の基礎的理解に関する科目等	授業科目	単位数	開講年次	免許状に必要な最低修得単位数	
				中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	2	2	2
	教職論	2	2	2	2
	教育社会学	2	2	2	2
	教育経営学	2			
	発達心理学	2	2	2	2
	学習心理学	2			
	特別支援教育総論	2	2	2	2
	教育課程編成論	2	3	2	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	2	3	2	
	総合的な学習の時間論	2	3	2	2
	特別活動論	2	3	2	2
	教育方法・技術 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2	2	2	2
	生徒指導・進路指導	2	3	2	2
	教育相談	2	3	2	2
教育実習	教育実践実習事前・事後指導(中・高)	1	2・3(高) 3・4(中)	1	1
	教育実践実習事前・事後指導(中)	1	3・4	1	
	教育実践実習事前・事後指導(高)	1	2・3		1
	教育実践基礎実習(中・高)	1	3	1	
	教育実践実習B	3	4	3	
	教育実践実習C	2	3		2
教職実践演習	教職実践演習 (中学校・高等学校)	2	4	2	2
大学が独自に設定する科目	サイエンスコミュニケーターA	2	3		
	サイエンスコミュニケーターB	2	3		

(注) 1) 開講期は、授業時間割表により確認すること。

2) 教育実践実習は、取得しようとする免許の校種により、履修する科目が異なる。

「教育実践実習B」：中学校の免許のみ又は中学校及び高等学校の免許を取得する場合。

「教育実践実習C」：高等学校の免許のみを取得する場合。

3) 教育実践実習の実施の詳細は、別に指示する。

4) 「教育実践実習事前・事後指導(中・高)」は、必修科目である。高等学校の免許のみを取得する場合は2・3年次に、それ以外の場合は3・4年次に履修すること。
また、「教育実践基礎実習(中・高)」も、中学校の免許のみ又は中学校及び高等学校の免許を取得する場合は、必修科目である。

5) 卒業要件への算入については、「Ⅳ 履修要項」の「2-2 基盤専門教育科目の卒業要件と履修方法」(P9～10)を参照すること